

児童クラブだより  
第99号

2020年8月6日



特集

児童クラブでの体験を通して

子どもと一緒に

過ごす時間

今回の特集は、「子どもと一緒に過ごす時間」となります。児童クラブは、これまででも施設を取り巻く環境に応じて、保護者・運営委員をはじめとする地域の方々・指導員が「子どもが真ん中 育て合い」を基に、子どもと一緒に過ごす時間の充実を図ってきました。

今日の社会情勢をふまえ「子どものために何ができるのか」児童クラブの特色を生かした活動の工夫と指導員の思いを今号では紹介します。

2020年度(令和2年度) 入所児童数 3,213名  
[2020年4月1日現在]

※掲載写真は撮影のため、マスクを外しています。



特集

# 児童クラブでの体験を通して 子どもと一緒に 過ごす時間



仲間と一緒に、外遊び



挑戦→失敗→再挑戦→成功

児童クラブでは、ブロックやおままごと等の室内遊びと、けん玉やおはじきといった伝承遊び、さらに鬼ごっこやフットベースのような集団遊びまで、ルールを学びながら多岐に渡る遊びをしています。



児童クラブは  
「遊び」と「生活」  
2つの支援

子どもは遊びを通して経験を重ね、集中力・想像力・協調性・判断力等たくさんの「生きる力」を学んでいます。学力を身に付けていく事も必要な事ですが、生活の中で「生きる力」を身に付けるため、遊ぶ事も欠かせない事であると思います。失敗からの再挑戦、そして、成功、またトラブルを解決に導く経験も遊びの中から学ぶ事ができます。

思いきり遊び、  
安心して過ごす時間と環境を！

ほかに、工作・手芸等を行います。1人で想像しながら創作する時もあれば、児童クラブの取り組みとしてみんなで作る時もあります。ハサミやのこぎり、針と糸といった道具の使い方を正しく学び、使ったものを元の位置に戻し、散らかったゴミを拾う等の片付けまで、自分で最後まで行う事が「ものを作る一連の流れ」・「行動に対する責任」であると、体験を通して学ぶようにしています。

また、おやつ作りや食事作りといった調理をする機会があります。畑で季節の野菜を栽培したり、めだかやカブト虫を飼育している児童クラブもあります。成長を観察する事も、子どもの「感情や心の豊かさ」が育まれる事につながります。

おいしいご飯を  
つくるよ！



リズムけん玉  
の練習



児童クラブは異年齢集団の縦割り班で活動し、当番として皿洗いや床はき、ぞうきんがけ等の掃除もします。自分たちの場所をきれいにすることで場所や物への愛着につながり、日頃から整理整頓を行う事を学ぶ機会にもなります。

リーダー会議等の話し合いから行動に移していく自治活動も行っています。誕生会や遠足の活動は、上級生を中心に話し合いみんなが楽しめるように工夫しています。

## 子どもと一緒に過ごす時間

児童クラブでは、子ども1人ひとりの心に寄り添いながら、子どもの将来を考えた健全育成支援をしています。時に起こるトラブルも解決方法を学ぶ機会と捉え、子どもの成長につながると考えています。

政府より新しい生活様式が提示される等、児童クラブとしては、これまで伝統的に培ってきた児童クラブの強み(異年齢集団・地域との関わり等)を生かしながらも、児童クラブとして「子どものために何ができるのか」を再検討し、工夫を加えた生活をしていきます。「子どもと一緒に過ごす時間」については、保護者の皆さんとも今一度、ともに考える機会になればと思い特集しました。



# みらぞう君が児童クラブにやってきた⑨ レッツゴー!

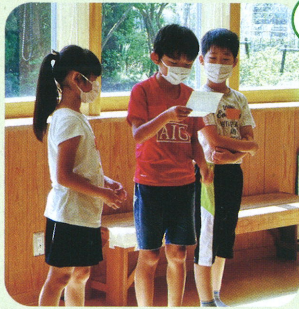
今回みらぞう君が訪れたのは、辻堂砂山児童館に併設されている風の子児童クラブと浜見児童クラブ。市民の家も同じ建物内にあるので、地域の人が集う場所となっています。

今号はみらぞう君のリポート取材です



## みんなで遊ぶの巻

### ～ 風の子児童クラブ (高砂小学校区) ～



ドキドキしながらルール説明

児童館のお部屋を借りてできるゲームをする事になりました。「低学年に合わせたゲームを考えよう!」と、話し合っ、みんなが楽しめる“宝探しゲーム”に決まりました。手作りの宝ものを準備してゲーム開始!

宝を見つけたみんなはニコニコ! 低学年から「楽しかった! ありがとう」と言われた上級生は、「みんなで遊ぶ事は楽しいから、ありがとうはいらないよ!」と頼もしい返事でした。



なかがまがつながっていくのがたのしいね



宝ものゲット! やったね☆



## 遊びを通してのコミュニケーションの巻

### ～ 浜見児童クラブ (浜見小学校区) ～



みらぞう君、続いて隣の浜見児童クラブへ!

児童クラブは伝承遊びを取り入れています。その中のこま遊びでの場面を紹介したいと思います。

1枚のこま板を囲んで、それぞれにこまを回す事に集中している子どもたち。しばらくすると、「ねえ、みんなでチーム戦やらない?」「じゃあ、チームを決めよう!」「どんなルールにする?」など、たくさんの会話が飛び交います。最上級生の子がいると、自然とその子が音頭をとって、まとまって遊んでいました。

こまバトル!



毎日のけん玉練習



おりがみに夢中

指導員も子どもたちと一緒に遊ぶ事がありますが、そこで気を付けている事は「子どもたちの会話や自主的な発言を大事にする」事です。時には、指導員の助言が必要な時もありますが、遊びを通してコミュニケーションを図る事はとても大事な事です。自分も含め、みんなが楽しく遊ぶためにはどうしたら良いのか考える事で、それが“学び”につながると感じています。

みんなで楽しく遊ぶ様子を見て、みらぞう君も笑顔になっていましたよ。

みらぞう君、次はどこクラブに? お楽しみに!





## 新クラブ紹介!

2020年4月に羽鳥・明治小学校区にこぐま児童クラブ(旧 第2小羊児童クラブ)と森の子児童クラブ、秋葉台小学校区にコスモス児童クラブが誕生しました。新施設に通っている子どもたちの声とクラブ長の思いを紹介します。

### こぐま児童クラブ 森の子児童クラブ

羽鳥小学校区(小羊・第2小羊)明治小学校区(芝の子・麦の子)にはそれぞれ2つの児童クラブがありました。児童数の増加により羽鳥・明治の小学校に通う児童を対象とした「森の子児童クラブ」が誕生しました。

また、第2小羊児童クラブは「こぐま児童クラブ」と名称が新しくなりました。こぐま児童クラブと森の子児童クラブは1つの建物の1階(森の子)と2階(こぐま)に分かれています。

どちらの児童クラブも子どもたちからは「広くなって明るくなった!」「新しくとてもきれい!」と好評です。

クラブ長は「子どもたちが主体で、思いやりのある児童クラブ」(森の子)「たくさんの遊びとチャレンジがあり、想像力と創造性があふれる、心豊かな児童クラブ」(こぐま)にしたいと抱負を語っていました。



### コスモス児童クラブ

秋葉台小学校区にはいちょう児童クラブがありました。こちらでも児童数の増加により「コスモス児童クラブ」が誕生しました。いちょう児童クラブとは建物がつながっています。

子どもたちには「明るくてきれい!」「ロッカーの数が多し!」と好評です。

クラブ長は「挨拶ができる、そして異年齢の関わりを大切にする児童クラブにしたい」と抱負を語っていました。

### 児童クラブ通信『またあした』の新しいタイトル募集!

次号は、いよいよ100号になります!  
そして藤沢市みらい創造財団10周年。  
みんなに愛され親しまれていく通信に、ふさわしい新しいタイトルを募集します。誰のアイデアが、児童クラブ通信の新たな歴史をつくるのか?!  
たくさんのご応募お待ちしております。

募集期間: 8月1日~8月31日  
応募方法: 所定の用紙に書いて、クラブにて受付  
発表: 第100号(2020年11月発行予定)紙面にて掲載

公益財団法人  
**藤沢市みらい創造財団**

〒251-0054  
藤沢市朝日町10-8 藤沢青少年会館内  
放課後児童育成課

TEL 0466-21-6709  
FAX 0466-28-0009  
URL <https://www.f-mirai.jp>  
E-mail [jidouclub@f-mirai.jp](mailto:jidouclub@f-mirai.jp)

